

知っておきたい

暮らしとお金のいろは

第21回

Q 定年退職を3月に控え、セカンドライフに向けて、「快適な老後」を過ごすためのお金の使い方や管理の仕方など、アドバイスがあれば教えてください。(60代 男性)

A 「快適な老後」を過ごすためには、家庭の決算書となる「財産目録(バランスシート)」と「家計簿(損益計算書)」を作り、家計収支の変化を知ることが重要です。

決算書は財産目録(バランスシートⅡ図1)と、収入と支出を表す家計簿(損益計算書Ⅱ図2)を中心にできています。バランスシートは国や企業の状況を知る上で非常に重要ですが、個人の家計においても、とても重要なものです。まずは、「資産・負債・資本」の3つに分けます。

資産：預貯金(元本)、国債や株式などの有価証券(時価)、保険(解約返戻金)、自宅・その他不動産(売却見込み額)

負債：住宅ローンや自動車ローンなどの借入金(残高)

資本：純資産残高(資産から負債を引いた残り)

その中でも、純資産残高が「どの程度プラスなのか」を知ることが重要です。定年後は住宅ローン返済も終わり「負債」が少ないバランスシートになりますが、年間の収支を把握しておかないと、「資本を切り崩して生活」という状態になるかもしれません。「快適な老後」を過ごすためには、しっかり家計とお金に向きあい、収支のバランスを把握して、貯蓄を上手に運用することが重要なのです。そのためにも年に1度は「家庭の決算書」を作ることをお勧めします。

財産目録(バランスシート)図1

資産		負債	
普通預金	70万円	住宅ローン	2800万円
定期預金	100万円	自動車ローン	
社内預金	50万円	教育ローン	
株式	20万円	クレジットカード未払金	
投資信託		負債合計	2800万円
終身保険	60万円		
不動産(自宅)	2700万円	純資産	
自動車		資産-負債	200万円
資産合計	3000万円		

借入金は元本残高を調べる

株式は時価、保険は解約返戻金、不動産は売却見込み額を調べる

ここがマイナスなら債務超過

家計簿(損益計算書)図2 (月単位)

家計簿		円
総支給額(基本給)	250,000	
その他の収入	5,000	
収入合計	255,000	
社会保険料など	35,000	
所得税・住民税	11,000	
(控除合計)	46,000	
住宅費・光熱費	67,000	
食費・生活費	70,000	
その他の出費	50,000	
(出費合計)	187,000	
支出合計	233,000	
残高	22,000	

2015年12月現在の税制・税率に基づき作成しています。税制・税率は将来変更される可能性があります。併せてご確認ください。また、個別の税務に関する取り扱いは、税理士または所轄の税務署に確認してください。

協力募集代理店(有)ファミリーライフクラモチ 大森 健一さん

独立系FP事務所(有)ファミリーライフクラモチ所属。AFP・住宅

ローンアドバイザーの資格を活用し、セミナー講師・個別相談等を実施。

募集代理店(有)ファミリーライフクラモチ 土浦市永国9-7-1 ☎0120-12330005

